

ネイチャーセンターだより

ノビタキ

Siberian Stonechat

春国岱を含む根室地方では最も数多く生息している夏鳥のひとつです。

オスは頭や背中が黒く、喉のオレンジ色が鮮やかです。メスは茶色で地味な色をしています。

春国岱や根室で子育てをしているのですが、ノビタキはカッコウの託卵相手として狙われています。春国岱の木道を歩くと、ノビタキの巣にこっそり卵を産んで、子供を育ててもらおうとたくらむカッコウと、それを追いつくノビタキの攻防戦が繰り広げられていることがあります。

もう少しあとの時期になると、巣立ったヒナを連れた親子に会うこともあります。



7月のイベント



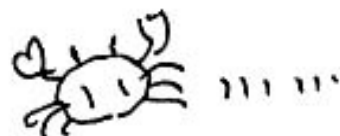
お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで (0153-25-3047)

風蓮湖・春国岱フィールド講座 「知ろう ふれよう ラムサール!」

日時 7月2日(日) 13:00~16:00
対象 高校生以上 30名
申込 6月29日まで
講師 釧路国際ウエットランドセンター
主幹 新庄久志氏
費用 1000円/1人(保険・資料代として)
概要 外部講師をお招きする特別行事の第一弾。館内での講演「ラムサール条約について」を受講したあと、講師、レンジャーと共にフィールドに出て、風蓮湖・春国岱の湿地の特徴を見てみます。
ラムサールや、風蓮湖・春国岱に少しでもご興味ある方、是非ご参加ください!

「海の生きもの見つけにいこう」

日時 7月29日(土) 9:30~12:30
対象 小学生以上 20名
(小学生は保護者同伴)
申込 7月25日まで
費用 1000円/1人(保険・資料代として)
概要 春国岱・風蓮湖周辺の海は生き物の宝箱。潮のひいた海岸で、海辺の生き物のヒミツを探りながら、こっそりかくれるヤドカリやカニたちを探してみよう。



自然情報 * 6月* 春国岱特集

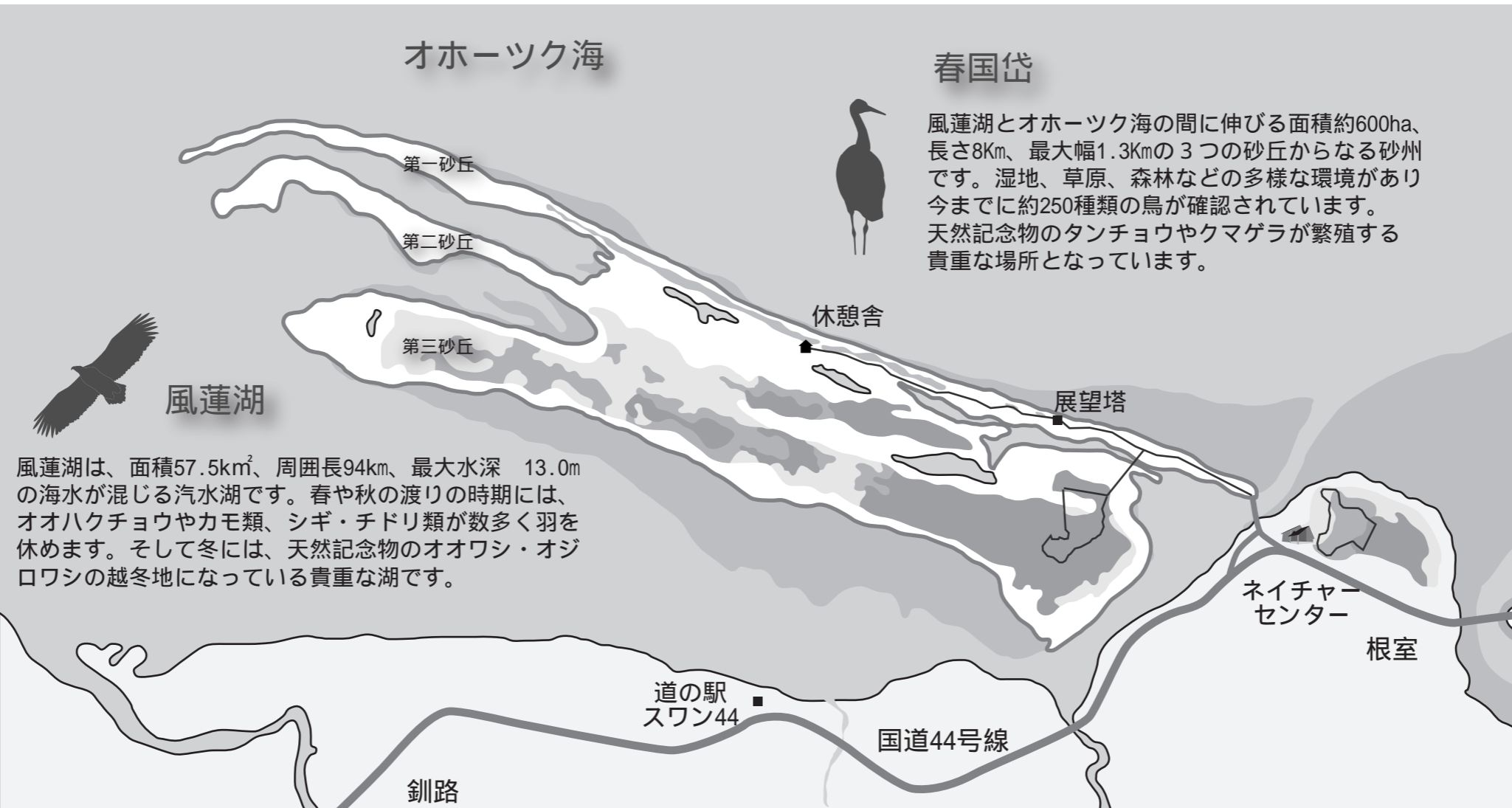
風蓮湖・春国岱は、2005年11月にラムサール条約の登録湿地となりました。（ラムサール条約：水鳥が暮らす湿地を人間も利用しながら、守って
いこうという国際的な条約）
春国岱は、砂州でありながらも、湿地・草原・森林など多様な環境があり、そこに適応した鳥や植物が暮らしています。
また、年平均気温、とくに霧が多く発生する夏場は気温が低いため、海に面する低地でありながらも、山の上で暮らす鳥たちや高山植物が見られ
ます。そしてその上空を海鳥のカモメが飛んで行きます。
この不思議な自然がある場所を是非、散策してみてください！



オジロワシ

多くの個体は、冬になると北から渡ってきますが、風蓮湖・春国岱では子育てしている個体もいるので、夏の間でもオジロワシの姿が見られます。

潮の引いた干潟や、東梅岬沖の岩場、テトラポットなどに止まっていたり、大きなシルエットで空を飛んでいるところを見かけます。
カモメが一斉に飛び立ったら、近くの空に悠々と飛ぶワシの姿が見られるかもしれません。



風蓮湖は、面積57.5km²、周囲長94km、最大水深 13.0mの海水が混じる汽水湖です。春や秋の渡りの時期には、オオハクチョウやカモ類、シギ・チドリ類が数多く羽を休めます。そして冬には、天然記念物のオオワシ・オジロワシの越冬地になっている貴重な湖です。

春国岱

風蓮湖とオホーツク海の間には面積約600ha、長さ8km、最大幅1.3kmの3つの砂丘からなる砂州です。湿地、草原、森林などの多様な環境があり、今までに約250種類の鳥が確認されています。天然記念物のタンチョウやクマゲラが繁殖する貴重な場所となっています。

《見られる動物》



エゾシカ
小鹿を連れて歩いているかも



キタキツネ
子供のためにエサを探しています



エゾリス
樹上でガサガサという音はリスかも

《見られる植物》

- 【黄色】
シコタンタンポポ
シコタンキンポウゲ
センダイハギ
- 【白色】
マイヅルソウ
エゾクサイチゴ
コツマトリソウ
オドリコソウ
- 【桃色】
ハマナス
ハクサンチドリ
ウミミドリ

など、花の季節です！



《6月に見られる鳥》

探してみると、いろいろな鳥たちに出会えるかもしれません

- 水辺 タンチョウ、アオサギ、クイナ、ホウロクシギ
- 海辺 ウミネコ、オオセグロカモメ、シロカモメ
- 草原 ヒバリ、ノビタキ、シマセンニュウ、オオジュリン、コヨシキリ
- 森林 キジバト、クマゲラ、ミソサザイ、ルリビタキ、コムクドリ
- 上空 アマツバメ、ショウドウツバメ、オジロワシ など

タンチョウ

風蓮湖・春国岱周辺では、タンチョウが子育てをしています。水辺にいる白くて大きな鳥の姿を見かけたら、それはきっとタンチョウです。もしヒナを連れてくるのを見つけても、遠くからそっと見守ってください。

センターでは双眼鏡の無料貸し出しを行っております。どうぞご利用ください。蚊が発生する季節になります。虫除け対策もお忘れなく。



ネイチャーセンター日記

5月から6月にかけて、多くの方が来館された。たまに、「根室は寒いね～」との声が聞こえてくる。「どちらから、いらしたんですか？」とたずねてみると、様々な地名が収集される。大阪、横浜、東京、宮崎、茨城などなど。その多くの方が双眼鏡を、首からぶらさげている。どうやら、バードウォッチングを趣味にしている人たちのようだ。この季節は、子育てに忙しく飛び回る小鳥達の姿や声がよく聞かれる季節だ。「うちの近くでは、ベニマシコは冬にいるんだけれど、こっちは今見られるんだね。赤いね～。」本州では冬に見られる小鳥達で、夏は北海道で子育てをするものもいる。そうした鳥も目当ての1つに、この季節、本州から北海道に渡ってくる人もたくさんいるようだ。



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp

団体向けプログラムのご案内

～雑学クイズ～

今月の表紙にもなっているノビタキ。漢字で書くとどうでしょう？

農鵜

農地によくいるヒタキ(鵜)の仲間だから

野鵜

野原によくいるヒタキ(鵜)の仲間だから

濃鵜

頭の色が濃いヒタキ(鵜)の仲間だから

答えは右側

野外解説 (1～2時間 / 10～20名)

自然のお話 (25分 / 10～45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10～50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム

(0.5～2時間 / 10～20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限定させていただきます。

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

電話 0153-25-3047 F A X 0153-25-8570

H P http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

6・7月の開館時間 9:00～17:00

6・7月の休館日 6/7・14・21・28日 7/5・12・18・19・26日



2006.6 発行

クイズの答えは・・・